

CVスプレー工法（開水路）

排水路改修工事



昨年11月に松山市内の開水路改修工事において、CVスプレー工法が採用となりました。

今回の使用材料には最近開発されたCVスプレーR3-Eを選択しました。これは従来品より紫外線による黄変を抑制する機能があり、トップコート工程を省くことが出来ます、さらにCVスプレー(SQS)の特徴の1つは、専用マシンに接続している60~90mのホースです、写真のような住宅に挟まれた水路の施工には最適でした。この工法採用により、工期短縮と施工費低減だけでなく近隣環境への負担も軽減する事が出来ました。

農業用水路等コンクリート製の開水路は、コンクリートの劣化や支持地盤の沈下などの影響で亀裂が発生し、貴重な農業用水の流出原因になっており、その流出量は無視できない量になってきております。それに対し、超速硬化ウレタン樹脂の優れた亀裂追従性や耐候・耐久性は、コンクリート開水路の長寿命化に大きく貢献することができます。

施工時には多数の関係者が視察に訪れ、興味深く施工をご覧いただいた事は、今後のレジテクト普及に大変期待出来ます。

大阪営業所 地区担当SV
上田 展義



施工地域：愛媛県松山市
工期：2006年10月1日~2006年12月31日
工法：レジテクトCVスプレー(SQS)工法
使用材料：CVスプレーR3-E
施工会社：ニッソー技研株式会社

CVスプレー工法（地下防水）

東京ディズニーランドの車道アンダーパス防水工事



東京ディズニーランド(TDL)の運営会社では、旧TDLパーキング(ミッキー区画)部分にアンパサダー、ミラコスタに次ぐ第3のホテルを建設中です。

このホテルとTDLを結ぶ通路及び車道アンダーパス部の地下防水工にレジテクトCVスプレー工法が採用されました。

ホテルの概要は地上9階建て、延べ床面積約8万9000㎡、客室は約700室(全てファミリータイプ)でTDLと向かい合うように立ちます。建築様式は内・外装とも前記2ホテルと同様19世紀から20世紀に流行した、イギリスヴィクトリア朝様式に統一されるようです。ホテルの開業はH20年予定と発表されておりますが、通路の地下防水工は18年12月に完了しております。

元請様には藤信化建の施工で首都高速道路・東京メトロ(地下鉄)など首都圏の大型土木工事の防水工にCVスプレー工法を数多く採用していただき、地下防水工法として大きな信頼を頂いております。

この案件は、夢の世界を求めて来場される多くの観光客が利用する通路に優れた防水機能を与え、また塗布後翌日には埋め戻しができ、大幅な工期短縮が可能となるため即決採用となりました。

関東地区担当SVリーダー
宮田 撰夫



施工地域：千葉県浦安市
工期：2006年10月~12月
工法：レジテクトCVスプレー工法 防水後施工
施工会社：藤信化建株式会社

RT工法（はく落防止）

セメント鉱石貯鉱場擁壁補修工事



平成18年5月に着工した大分県津久見市にあるセメント鉱石貯鉱場の擁壁補修工事について、ご紹介をさせていただきます。

施工現場は全国有数の石灰石の鉱山です。鉱山から採掘された石灰石は、ベルトコンベアーで数km離れた貯鉱場まで運ばれ船積み出荷されます。そのため貯鉱場は海に面して設置されており、常に海風に当たっております。当然防塵を兼ねた擁壁は塩害で痛んでいました。メンテ業務を請け負っている元請様の考えでは、予算の関係もありコンクリートの補修後は簡易な塗装で被膜する予定でした。

施工打ち合わせの中で、アイテックからレジテクト工法の紹介を受けた作業所長様が関心を抱かれ、高速道路などで評価の高いRT工法の採用に向かいはじめました。

問題は施工単価です。当初より塗装仕様となっていた為予算が合いません。元請様としては元々塩害対策のみを考えていたところ、レジテクト工法であれば剥落対策も望めることから、予算内での剥落対策可能な工法・仕様の提案を要求されました。過去の使用事例等々検討の結果、レジテクト100を使用することにしました。この仕様でも予算的にはまだ厳しかったものの、アイテックの今までの施工経験から何とか判断され受注の運びとなりました。

実際施工に着手しますと、色々な問題が発生しました。下地のコンクリートが非常に悪い状態だったためピンホールが大量に発生したり、裏から水が廻ってきたりと随分ご苦労をされておりました。当初は擁壁ということで美観はあまり問わないという話でしたが、目線の辺りについては元請様がかなり気にしていたようです。コストの関係からレジテクトT-50N(素地調整材)は使用しない予定ではありましたが、やむを得ず一部使用する事になりました。

9月に予定分が施工完了し、元請様からは良い評価を頂いております。その後も引き続き施工を依頼され、本年3月頃には約500㎡の追加工事を予定しています。施工中現地にて作成した供試体へ2回押しぬき試験を実施し、2回とも規定値1.5kNに十分という結果を得ています。

今後このような民間工事での採用が増加していくものと思われますので、その状況に合わせた工法や仕様を担当SVと検討し、是非受注に結びつけて頂きたいと考えております。

西日本地区担当SVリーダー
大西 政幸

施工地域：大分県津久見市
工期：2006年5月~2006年9月
工法：レジテクトRT-1(改)工法
施工会社：アイテック株式会社



CVスプレー工法（農業用水路）

農業用水路改修に採用広がる



受注の経緯と今後の見通

山梨県上野原市は平成17年2月13日に上野原町と秋山村が合併し面積：170.65km²、人口：3万強として新しく上野原市が誕生しました。

上野原市土地改良区が管理されている用水路は、大正5年に着工し大正8年から共用された用水路で一部町内の飲料水として使用されています。

CVスプレー(SQS)担当チームでは平成18年10月に用水路を直接管理している関東地区の土地改良区に「CVスプレー工法」を紹介してまいりました。

山間部で起伏の多い上野原市土地改良区が管理している斜面に建設された用水路では、数年前から民家側に漏水する状態であったとのことでした。

今回の用水路補修工事は「工事区域は少ないが、施工時間も短時間ですみ、出来型も悪くない」との意見が土地改良区の評価でした。

また、用水路共用年数も90年近く、地形的に見て躯体の打替えも困難な状況で今後の補修工事計画もあるようです。

レジテクト本部 担当部長
森本 泰二郎



施工地域：山梨県上野原市
工期：2006年12月
工法：SQS・CVスプレー工法
施工会社：株式会社スバル